



東京バプテスト神学校

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-1-18

TEL:(03) 3947-5141 FAX:(03) 3947-5145

メール:seminary@tbts.jp

tbts.jp

検索

## 「宗教学」 4単位 木曜日 東方敬信

現代のグローバル化した時代に、宗教はどのような課題を担っているかを学び、語り合いたい。そもそも現代人にとって「宗教的経験」とはどのような内容なのか。また近代社会の世俗化の過程とは何であったのか。改めて近代の社会観を問い直したい。とりわけ、2001年の9:11以降の世界において宗教的問いが深まっているので、『文明の衝突とキリスト教』(教文館)を参考にしながら考えて行きたい。さらに日本の社会状況において「キリスト教信仰はどのような証しをしてゆけば良いか」、教会の伝道の喜ばしい課題として考えて行きたい。そこには神学的課題として文化論や比較宗教論や人間教育の課題があるように思われる。このようにして「キリスト教と文化」のかかわりを考察し、現代の教会の課題を考えたい。

## 「教会音楽概論」 4単位 金曜日 江原美歌子・小松澤恵

- I. 教会音楽の目的、重要性、使命を踏まえ、礼拝・宣教・教育・牧会の中での役割を学んでいきます。
- II. 聖書(旧約、新約)や賛美歌の歴史から賛美の基本、神学、姿勢を学びます。
- III. 礼拝での賛美の役割を学び、礼拝の中の賛美歌選曲を実践していきます。
- IV. 礼拝における会衆の参与を促す「会衆賛美」の重要性、その働きを学びます。

## 「教会管理」(教会実務) 4単位 金曜日 \*連続公開講座

教会の受洗者が減少し、高齢化が進み、60歳以上比率が50%を超え、教会の限界集落化が進行している。この流れは全世界的であり、世俗化の進展により、人々は神の存在を疑い、宗教的な組織や施設に懐疑的な目を向け、礼拝参加者が減少している。アンケート等では、キリスト教を信じている人は0.9%であるが、キリスト教に親しみを感じる人は12.5%、聖書や経典を読む人は26.4%もいる。福音を求めている人たちをいかに教会に招くかを考える。今日「日曜日に教会に来て礼拝しましょう」と誘うだけでは無理であり、ウィークデー・ミニストリーや積極的な社会との関わりが必要と思われ、そのための基本情報を提供する。教師は各部門の専門家複数名を予定。

## 「教会音楽教育」(子ども音楽) 4単位 土曜日 小松澤恵

子ども音楽の目的、指導法、霊的及び音楽的概念、指導者の在り方について学ぶ。また教材や曲の選び方、プログラムやカリキュラムの作り方、様々なメソッドも研究する。

## 「教会音楽実践Ⅰ」 4単位 土曜日 菊地るみ子

教会音楽ミニストリーの基礎と組織、指導法、プログラム計画、予算の立案。音楽関係器材の購入と管理。音楽事務管理。等を学ぶ。テキスト:新生讃美歌・聖書・「活力ある教会作り」(日本バプテスト連盟)・レポート提出。

## 「合唱」 2単位 土曜日 菊地るみ子

合唱は神学校の学生、卒業生、及び教師により構成する。授業は週一回。単位修得のためには、授業出席の他、所属教会プログラムに出席し、教会音楽に関するレポートを提出すること。教会音楽科演奏会及び、本合唱グループの演奏には積極的に参加すること。本授業は教会音楽科学生在学中は履修を必修とする。

## 神学特講・夏期講座「礼拝学Ⅱ」 2単位 越川弘英

2018年度夏期・冬期講座は、同志社大学で礼拝学を専攻される越川弘英先生をお迎えし、「礼拝の活性化のために」と題して講義をしていただきます。神学校生は夏期と冬期に各2単位、合計4単位を礼拝学Ⅱとして取得することができます。また公開講座ですので、関心も持たれる方はどなたでも受講できます。諸教会において礼拝出席者が減少し、バプテスマ者も与えられにくい現状の中で、信仰生活の中核である「礼拝の意味」を考え、「生き生きとした礼拝にするために」どうすればよいかを学ぶ機会を、共に持ちたいと願います。なおこの講座は当校の設立母体でありますバプテスト連盟東京地方連合、神奈川地方連合、北関東地方連合の共催として開かれます。  
・参考テキスト:越川弘英著『信仰生活の手引き 礼拝』(日本基督教団出版局/2013年)

## 2018年度前期 東京バプテスト神学校受講案内 本科・神学専攻科・教会教育専攻科・教会音楽本科・教会音楽専攻科・信徒リーダー養成コース

- 【願書受付】 ・入学・聴講手続に必要な書類を当神学校に請求してください。  
(神学校ホームページからもダウンロード出来ます。)  
\*願書に必要な事項を記入の上、3月9日(金)までに郵送してください。  
\*専攻科・本科・信徒リーダー養成コース入学及び聴講希望者には牧師の推薦が必要です。  
(但し1課目のみ試験聴講の方は不要です。)  
\*専攻科入学希望者には、教会総会の推薦を必要とします。

- 【試験面接】 3月23日(金)午後6時30分  
\*入学・聴講面接(但し専攻科は筆記試験と面接)  
\*教会音楽科は、実技及び楽典の試験と面接を行います。

- 【入学式・オリエンテーション】  
4月6日(金)午後7時 於:茗荷谷キリスト教会  
\*受講手続きがありますので受講者は全員出席してください。

- 【学 期】 ・前期 4月9日(月)~9月29日(土)  
<夏期休業 8月1日(水)~8月31日(金)>  
・後期 10月9日(火)~2019年3月30日(土)  
<冬期休業 12月17日(月)~2018年1月4日(金)>

- 【休業日】 主日、水曜日、国民の祝日(但し2月11日は除きます)

- 【授業時間】 月曜・火曜・木曜・金曜日 午後6時30分~8時30分  
\*但し、教会音楽科については土曜日午前9時30分~午後3時30分

- 【入学金】 ・本科・専攻科入学金 100,000円  
・信徒リーダー養成コース 50,000円

- 【受講料】 ・本科生・信徒リーダー養成コース生 1課目4単位25,000円、2単位12,500円  
・本科聴講生 1課目4単位30,000円、2単位15,000円  
・専攻科 年間200,000円  
(\*卒業生は面接、試験、推薦状、入学金、設備費不要)

- 【設備費】 一律10,000円(年間)

- 【通信受講】 通信受講の場合、4単位当たり10,000円の通信事務費が必要です。

- 【聴 講】 ・どの課目も聴講可能、但し聴講生には卒業・修了資格は与えられません。  
・聴講で取得した課目は本科・信徒リーダー養成コース入学時に単位として認められます。  
・ある1課目だけ試験聴講したい方の入学金、設備費、牧師推薦状は必要としません。但し面接は必要です。  
・後援会会員、卒業生、連盟加盟教会牧師は1課目4単位30,000円が半額15,000円となります。但し単位は取得できません。

## 2018 年度前期 課目案内

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師
月	ヘブライ語初級	4	専攻科必修	村中範光
月	教会史Ⅰ	4	共通選択	坂本誠(ナザレン神学校)
火	礼拝学Ⅰ	4	共通選択	北島靖士
火	旧約聖書神学概論	4	共通選択	魯孝錬
火	指揮法Ⅲ	4	音楽専攻科必修	山中臨在
木	組織神学Ⅱ	4	専攻科必修	廣島尚
木	宗教学	4	共通選択	東方敬信(青山学院大学)
金	教会音楽概論	4	共通選択(教会音楽科必修)	江原美歌子・小松澤恵
金	教会管理(教会実務)	4	共通選択	*連続公開講座
土	合唱	2	音楽科必修	菊地るみ子
土	教会音楽教育	4	音楽本科必修	小松澤恵
土	教会音楽実践Ⅰ	4	音楽専攻科必修	菊地るみ子
夏期	公開講座(礼拝学Ⅱ)	2	専攻科必修	越川弘英(同志社大学)
	教会実習(神学・教育専攻科)	6		内藤淳一郎
	教会実習(音楽専攻科)	6		十時節子

## 2018 年度後期 課目案内

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師
月	ヘブライ語中級	4	専攻科必修	村中範光
月	教会史Ⅱ	4	共通選択	坂本誠(ナザレン神学校)
火	牧会カウンセリング	4	共通選択	古家良子
火	組織神学Ⅲ	4	共通選択	川口通治
火	指揮法Ⅳ	4	音楽専攻科必修	山中臨在
木	神学入門	4	共通選択	松村誠一
木	現代神学	4	共通選択	東方敬信
金	キリスト教倫理	4	共通選択	*連続公開講座
金	説教演習	4	専攻科必修	内藤淳一郎
土	合唱	2	音楽科必修	菊地るみ子
土	和声	4	音楽本科必修	十時節子
土	教会音楽実践Ⅱ	4	音楽本科必修	菊地るみ子
冬期	公開講座(礼拝学Ⅱ)	2	専攻科必修	越川弘英(同志社大学)
	卒業論文(神学・教育専攻科)	6	専攻科必修	
	卒業演奏(教会音楽専攻科)	6	教会音楽専攻科	

- 専攻科必修は神学専攻科と教会教育専攻科の必修課目です。
- 開講曜日および担当講師は変更する場合があります。

## 2018 年度前期 課目案内

**「ヘブライ語初級」 4単位 月曜日 村中範光**  
「ヘブル語初級 A」では、ヘブル語の基礎を学びます。まず、ヘブル語の文字の書き方と読み方を学びます。次に文法を学びながら簡単な聖句を実際に読んで解釈する練習を行います。さらに、パソコンの「J」バイブル「ヘブル語版」を使って、創世記 1 章と一緒に学びます。ヘブル語を知ること、新約聖書を理解する力となります。新約聖書がヘブル語旧約聖書と七十人訳ギリシャ語旧約聖書およびユダヤ教を母胎として書かれたからです。それゆえ、新約聖書の理解にはヘブル語の理解がとても大切です。  
・教材:「聖書ヘブライ語文法」(改訂版) 小脇光男著、青山社(税込み 3,024 円)  
・参考資料:「J」バイブル ヘブル語版」いのちのことば社 ¥19,800+税(購入する必要はありません)。

**「教会史Ⅰ」 4単位 月曜日 坂本誠**  
本講義においては、古代～中世に至るまでのキリスト教史の流れを理解し、把握することを目標に致します。古代においては、救世主到来を囑望する世界から初めて、教会教父を経て、キリスト教が公認される中で起きたキリスト論争そしてアウグスティヌスの生涯と思想までを学びます。中世においては、ヨーロッパ伝道、教皇権、修道生活を学び、アンセルムス、トマス・アクイナス、フランチェスコ等の人物に焦点をあてつつ、十字軍、宗教改革前夜までを講義していきます。必要な参考書は、随時紹介致しますので特定のテキストの購入は不要です。評価は「出席」「レポート」を予定していますが、授業の状況によって発表による評価も考えています。

**「礼拝学Ⅰ」 4単位 火曜日 北島靖士**  
「礼拝史」をたどりながら、過去、現在将来の礼拝の課題を考える。毎回、資料を配布する他参考書を多数紹介します。テキストではないが、主たる参考書として J. F. ホワイト著 越川弘英訳『キリスト教礼拝の歴史』(日本キリスト教団出版局)を指定します。

**「旧約聖書神学概論」 4単位 火曜日 魯孝錬**  
旧約聖書神学とは、旧約聖書の中心を取り出そうとする研究です。前半では、旧約神学の歴史的な流れの概観と 21 世紀の旧約神学のモデルなどを理解した上で、テキストを手掛かりに旧約聖書の中心を「神の支配・救済」という著者の視点を批判的に読んでいきます。後半では、参考資料を手掛かりにモーセ五書や歴史書、諸書、預言書のそれぞれの神学議論や課題を検討した上で、実際旧約神学の適用を試みたいと思います。どうぞ、と一緒に聖書解釈が何を指すべきなのかを考えていきましょう。  
テキスト: 木田献一『旧約聖書の中心』新教出版社、1989、参考資料: プリント資料配布

**「指揮法Ⅲ」 4単位 火曜日 山中臨在**  
「基礎的な指揮法の復習と応用。上級聖歌隊曲の指揮と指導。指揮者のリーダーシップ。オラトリオの指揮。」

**「組織神学Ⅱ」 4単位 木曜日 廣島尚**  
『総説 現代神学』(熊澤義宣、野呂芳男編、日本キリスト教団出版局、1995 年)の「第一部 現代進学の状況」をテキストに、教会が抱える諸課題について学びます。受講者は毎回、指定されたテキスト 20 ページ程度を事前に読んできて、授業ではその内容についての協議を行いません。テキストは購入してください。